

令和6年第4回当別町議会定例会一般質問通告一覧

令和6年12月定例会

順序	議員名	要旨
1番	芳形 幸夫	<p>1 農業従事者への支援について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>当別町の農業が厳しさを増す中で、当別町農業の維持と発展のために農業従事者への支援の必要性について質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>厳しさを増す農業情勢に柔軟に対応するため「当別町農業10年ビジョン」が改定となり、当別町の農家戸数が3割減少する予測と労働力の不足が深刻と指摘している。安定した地元の食料確保や気候変動と国際紛争による食糧危機の備えにも地産地消が良いと考える。このような中で、当別町地域計画協議会が行われているが次の項目について伺う。</p> <p>(1) 当別町地域計画協議会を開催したなかで、会議の進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 協議会で出された農業者の実態は、どのようなものだったか伺う。</p> <p>(3) 協議会で出された意見をもとに、道や国に要望すべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(4) 親元就農とか後継者に対する支援が必要と考えるが見解を伺う。</p> <p>2 補聴器の購入助成について</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>加齢性難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にする等生活の質を下げる大きな原因になるばかりか、最近ではうつ病や認知症の最大の危険因子になる事も指摘されている。</p> <p>【質問項目】</p> <p>補聴器購入は高齢者にとって大きな負担となることから、町独自に補聴器購入の助成をすべきと考えるが町の見解を伺う。</p>

2 番	佐藤 立	<p>1 学級編成の独自基準のとりやめについて</p> <p>【質問のねらい】</p> <p>西当別小学校の1、2年生の学級人数は、町独自で定めている学級編成基準が適用されないまま経過してきている。この度総合教育会議において独自基準のとりやめが決定されたが、その経緯経過等について確認する。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 教育委員会で検討されてきた項目、各検討項目についての評価、独自基準をとりやめるという結論に至った根拠を説明されたい。 (2) 特に、6月定例会の一般質問を踏まえ、独自基準をとりやめるという相当程度積極的な理由を説明されたい。 (3) 保護者や児童からの意見聴取はされたのか。どのような意見であったのか。 (4) 西当別小学校はとうべつ学園と比べて教室が狭い状況にあるが、どのような対策を講じる予定か、具体的なスケジュールとともに示されたい。 (5) 今回の一連の検討を踏まえ、改めて西当別地区の義務教育学校化について教育委員会の認識を伺う。 (6) 教育委員会は、提出された署名に対して、今後保護者に対しどのように説明していくのか。 (7) とうべつ学園建築時の国庫補助等との関係で、今回の独自基準とりやめは何らかの影響を与えることはないか。
-----	------	--

3 番	五十嵐信子	<p>1 介護人材確保の取り組みについて</p> <p>【質問のねらい】 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、多様な介護サービスはとても重要な役割を担う。介護人材の確保が重要で急務ではないか。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 介護人材不足を解消するための方策として、潜在介護員の把握をし、復職の支援や外国人材を積極的に登用していくことも有効と考えるが見解を伺う。 (2) 移住定住促進に向け、介護施設の勤務希望者には住宅費等の補助や保育士同様、介護士へも就労支援給付金を対象とするなど検討してはどうか伺う。 (3) 介護サービスにおいて、横の連携を取りながら有償ボランティアの活躍の場を広げてはどうか伺う。 (4) 介護の仕事の内容ややりがいなど、介護職の魅力発信の活動を積極的に行ってはどうか伺う。 <p>2 西当別基線川河川敷の桜並木について</p> <p>【質問のねらい】 2011年基線川河川敷桜育成保存会が設立し今年で13年目を迎えた。太美の桜並木の名所として今後整備していき町民と共に管理していくことが大切ではないか。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 西当別地区も数多くの子育て世帯が移住され、スウェーデン大通りにサツドラが出店し西当別支所も併設され賑わいが出てきている。来年度には太美雪堆積場は多目的広場として夏季利用出来る予定となった。河川敷にはめだか広場もあり、桜の時期はとても良い景色となるため地域の「憩いの場」にと望まれている。町の見解を伺う。 <p>3 防災備蓄計画の周知と専門職の役割について</p> <p>【質問のねらい】 避難所における備蓄品が明確にわかると不安なく自助の意識も高まる。また、災害時における薬剤師の役割は非常に重要と考える。</p> <p>【質問項目】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 家庭においても平時から備蓄品を用意している方も多くなり意識が少しずつ高まっている。避難所へ移動しても何をどれだけ備蓄しているのか分からず不安。いざという時のために避難所の備蓄品の見学や目に見える形で公表してはどうか。 (2) 災害時における薬剤師の役割は非常に重要である。災害時に薬剤師が活躍できる環境を整えることは町民の安全と健康を守るために不可欠と考えるが見解を伺う。
-----	-------	---

4 番	角田 広佑 (資料有り)	<p>1 役場におけるハラスメント対策について</p> <p>【質問のねらい】 ハラスメントは個人の人権や相互の信頼を損ない、あってはならない行為である。町におけるハラスメント対策の現状を質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 職場環境において、優越的な地位を悪用した「パワーハラスメント」や「モラルハラスメント」、「セクシャルハラスメント」などは、発生のリスクは少なくない。町における職員間のハラスメント防止について、どのような対策を講じているか。</p> <p>(2) 顧客関係や契約関係の地位を悪用した、「カスタマーハラスメント」も、昨今看過できない状況にある。特に自治体職員に対するハラスメントは、全国的に問題となっている。町では「カスタマーハラスメント」について、どのような対策を講じているか。</p> <p>2 スクールソーシャルワーカーの任用について</p> <p>【質問のねらい】 スクールソーシャルワーカーについて、現時点でも登録がなされておらず不在の状況が続いている。採用枠組みの抜本的な見直しの是非について質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 過去の議会答弁において、スクールソーシャルワーカーの勤務日数について、「多様な働き方を求めている方がいる」という答弁があったが、現時点で採用、定着に至っていない。勤務日数や勤務形態、労働条件などのミスマッチが生じていると考えられる。町としては現状をどのように分析しているか。</p>
-----	-----------------	---

5 番	山崎 公司	<p>1 太美駅構内整備と充実</p> <p>【質問のねらい】 1934年（昭和9年）11月20日石狩太美駅が開業。今年で90年の節目となった。駅構内の整備に関するJRとの協議について質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 1983年（昭和58年）跨線橋が設置されているが全体の汚れが目立ち、冬期間の階段は滑りやすくその対策が必要、また、高齢者・身障者用エレベータが必要で検討出来ないか。</p> <p>(2) 駅北口については駐車場が整備されているが、南口については駐車場がないため、JR北海道敷地に駐車している状況があることから、JR利用促進の為に駐車場を整備するよう要望出来ないか。</p> <p>(3) 南待合室に冬期間に暖房設備が出来ないか。</p> <p>2 いじめ・不登校の実態と対応について</p> <p>【質問のねらい】 道内で2023年に認知されたいじめは、児童44.4%増、生徒は37%増。不登校は児童・生徒共16.6%増。11年連続の過去最多を更新している。町内の現状と対応について質す。</p> <p>【質問項目】</p> <p>(1) 町内の小中学校のいじめ・不登校の実態について伺う。</p> <p>(2) 不登校の実態について教員が把握している事実を教育委員会として入手している内容は何か。</p> <p>(3) 不登校の増加が続く中で子供が学ぶ権利を保障するためには不安や悩みに対応出来る体制を拡充する事が重要と思うが見解を伺う。</p> <p>(4) 学校内外で安心して過ごせる場所のほか、学校以外で学べる選択肢も充実させる必要がある。具体的な対応を伺う。</p> <p>(5) 不登校の原因を正確に把握し適切にサポートする事が重要。改善策としてカウンセリングや家庭との連携が考えられるが具体的にはどのように対応しているか伺う。</p> <p>(6) 教員だけで対策を進めるのは不十分で心理・福祉や医療の専門機関などと連携し解決する体制づくりが求められるが考えを伺う。</p>
-----	-------	---